

成城地区の学校ニュース

進学型の工科高校

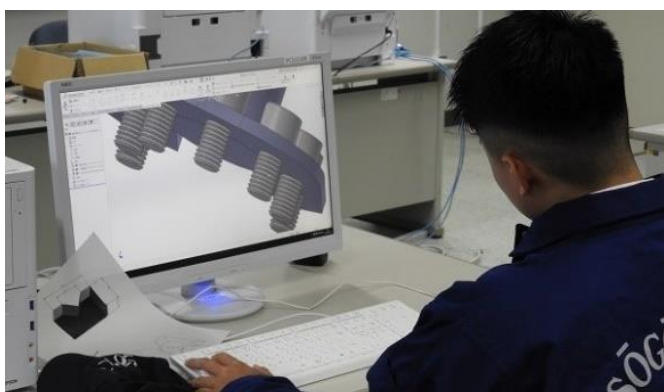
東京都立総合工科高等学校 副校長 片岡 憲太郎

本校の近況をご報告させていただきます。本校は、大学進学を重視する専門高校という使命のもとに、平成18年に開校しました。

従来、工業高校を卒業すれば就職が一般的でしたが、本校は令和6年3月の卒業生の実績は、国公立大学（山形大学、東京都立大学）をはじめ進学が6割、就職が3割、その他（浪人・縁故等）1割となっています。

大学・短大からの指定校推薦枠は、135校（令和5年度実績）もあり、普通科中堅校からでは進学困難な大学にも多数進学しています。

一方で、企業からの求人数は年間3000社を超え、就職内定率は100%です。関東電気保安協会、日本自動車連盟、NTT東日本、キヤノン等の一流企業に多数就職しています。



「面倒見のよい総工」を合言葉に！

昨年度の本校学校評価アンケートの調査結果では、80%以上の生徒が授業や学校生活に満足、保護者からも教育活動に対して90%以上の方から肯定的な評価をいただいて

います。

このことは、授業中だけでは作品が完成できない、報告書がまとめられない、定期考査等で合格ラインに達しないなどの生徒には、教師が温かい姿勢で追指導などを実施していることを生徒・保護者がよく理解してくれているからであると考えられます。

グローバルな社会を牽引し、世界で活躍する生徒の育成！

本校は開校以来、生徒に国際感覚を身に付けてもらうために様々な取り組みを積極的に行っています。台湾や韓国、中国等の海外の高校と連携し、修学旅行、学校訪問、オンライン交流イベント等の交流を行うことにより、国際理解教育を推進してきました。

昨年度は、台湾の学校が本校を訪れ、今年度は、2年生が11月23日から3泊4日で台湾へ海外修学旅行に行く予定です。2月には、都立高校生等海外派遣研修として、本校から代表生徒4名がイギリスに研修で行きます。



充実した学校生活！

放課後は資格取得に向けて教師とともに学習する生徒たちの姿が見られます。普通科高校でよく取り組まれる漢字検定、英語検定等に加え、情報技術検定、計算技術検定、色彩検定、技能士3級、2級建築施工管理技士補、第一種・第二種電気工事士試験などの資格取得に向けて学習に取り組んでいます。



7年連続でインターハイに出場する実績を上げました。

また、部活動に熱心に取り組む生徒たちも多数います。運動部、文化部、同好会、サークルなど全部で23の団体があります。どの団体も盛況ですが、とりわけ、本校には天然芝を生かした野球場があるため硬式野球部はハードな練習を日々行っています。併せて、自転車競技部の活躍は目覚ましく、今年度